



Backup Exec 20.2の アップデート

VERITAS™

The truth in information.

免責事項

- **ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。**
- **VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。**
- **なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。**

目次

1	Backup Exec 20.2のアップデート
2	Instant Cloud Recovery (ICR)と Azure Site Recovery (ASR)の統合
3	SharePoint 2016
4	VMware証明書を検証

Backup Exec 20.2のアップデート



リリース情報

- Backup Exec 20.2
 - マイナーリリース
- マイルストーン
 - 正式リリース日 (GA): 2018年8月13日
 - VEMSポータルからのISOファイルの入手: 8月13日の週から
 - Veritas Update(VxUpdate)によるパッチ提供: GAからおおよそ2週間後



リリース内容

ベースコンテンツ

- Instant Cloud Recovery / Azure Site Recoveryとの統合
- SharePoint 2016 Non-GRTサポート
- Silver EditionでVTLサポート
- BEサーバーに.NET 4.6を自動インストール（インストールされてなければ）
- Exchange 2010のGRTリストアには.NET 4.0以上が必要

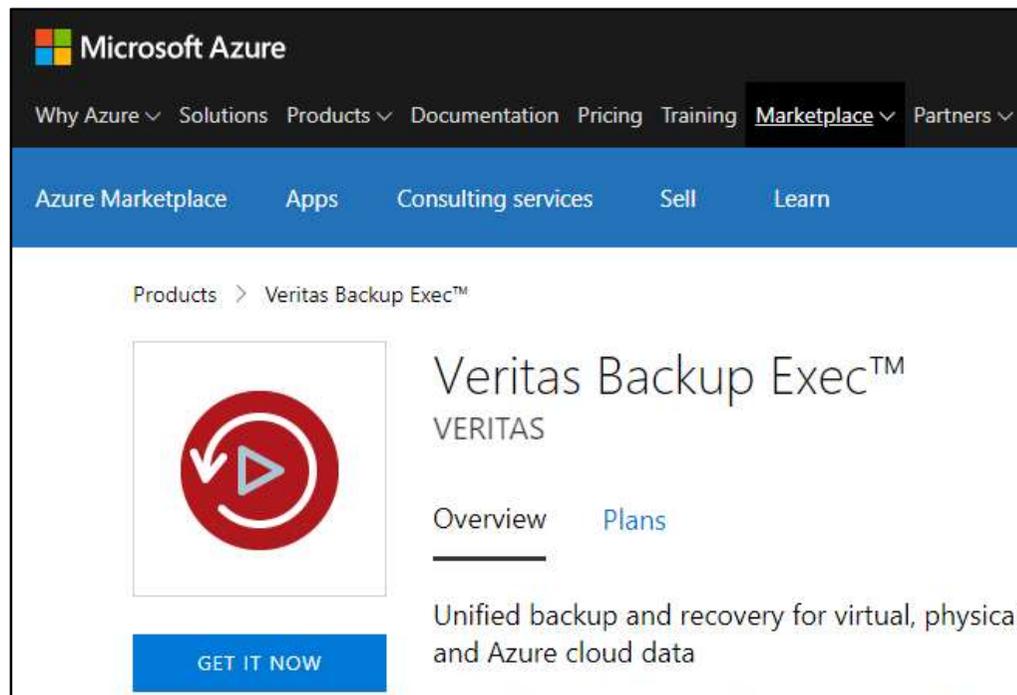
プラットフォーム対応

- vSphere 6.7および仮想マシンハードウェアバージョン14
- Debian 8.9 32ビットおよび64ビット
- Ubuntu 18.04（AOFO無し）

セキュリティアップデート

- VMware SSL証明書を検証

AzureおよびAWSマーケットプレイスから Backup Exec 20が入手できます！



Windows Server 2016
+ Backup Exec 20が既に
導入された仮想マシンを
すばやくAzure/AWS上に
デプロイ！



Silver EditionのVTLサポート

	スタンドアロン テープドライブ	ロボット ライブラリー	仮想テープ ライブラリー
Bronze	テープドライブ 1台のみ*	無*	無*
Silver (Capacity Liteと 一緒)	合計4ドライブまで対応 (スタンドアロンテープドライブ、 物理ロボットライブラリ、 仮想テープライブラリ (VTL)* 		
Gold	無制限	無制限	無制限

* 制限を超えるとアラートを発信します。但し、
ジョブは継続して実行することができます

Backup Execアプライアンス交換プログラム



今所有しているアプライアンスをBronze, Silver, Gold Edition 5 TB分のライセンスと交換できます

- 「サービス撤去の承諾書」に署名します
- 電子証明書ではなく、会社代表担当者の手書きの署名が必要となります
- 保守契約を成立させるには、「サービス撤去の承諾書」を、PO(注文書)に添付しなければなりません

Backup Execのクロスグレード/アップグレードガイドには、

- V-RayおよびCustom Edition (単体ライセンス) からBronze/Silver/Gold Editionへのクロスグレードについて
- BEアプライアンスをBronze/Silver/Gold Editionに交換するための条件
- 保守契約のクロスグレードのための条件などが記載されています

技術資料100043526 - Backup Exec Appliance “Exchange” Program

- Backup Execを他のサーバーへ移行するための技術資料へのリンク
- Veritas AutoSupport (call home)およびSymantec LiveUpdateに関するEOLの情報

In-Product Licensing (IPL)

Backup Exec エディションまたは保守契約のライセンスをアクティブ化するため、資格 ID を追加するか、ライセンス証明書に含まれているライセンスファイル (SLF) をインポートします。1 つの SLF ファイルには複数の資格 ID が含まれている場合があり、インストールプロセス中には複数の SLF ファイルをインポートできます。ただし、複数の SLF ファイルを一度に選択して同時にインポートすることはできません。資格 ID をリストに追加したら、[次へ] をクリックして資格 ID を確認します。

Backup Exec の評価版をインストールして 60 日間利用するには、資格 ID または SLF を入力せずに [次へ] をクリックします。

資格 ID の入力

リストに追加(A) ライセンスファイルのインポート(I)

アクティベートされたライセンス:

資格 ID	製品名	開始日	終了日
-------	-----	-----	-----

オンラインマニュアルの表示
[Backup Exec パートナーの検索](#)
[ライセンスの有効化、アップグレード、または更新](#)
[Backup Exec を購入します。](#)

次へ(N) キャンセル(C)

- BE20.2またはBE16のアップデートはここが使える
- BE15以前は使えません

- ライセンスファイルのインポートはすべてのバージョンで対応
- VEMSポータルから手動でダウンロードできます

Instant Cloud Recovery (ICR) と Azure Site Recovery (ASR)の統合

クラウドベースの災害復旧ソリューション



Instant Cloud Recovery (ICR)について



Backup Exec 20.2からの新しい機能。Microsoft社のAzure Site Recovery(ASR)と連携することで、クラウドを利用した災害対策を実現

ASRを利用してオンプレの仮想マシンを常時Azureへレプリケーションし、災害に備える。
災害時は、Azure側にレプリケートした仮想マシンにすぐにフェールオーバー

- Instant Cloud Recoveryは、Veritas側のクラウドと連携するためのユーザインタフェースの名称
- オンプレにあるHyper-VおよびVMware上の仮想マシンをサポート
- 物理マシンは現時点で未サポート



レプリケーションの状態を監視

仮想マシンのレプリケーションを有効にすることができる

Azureポータルを他の目的に利用することができる

Microsoft Azure Site Recovery (ASR)について

Microsoft社のAzureを利用した災害復旧ソリューション

- インフラコストの低減
- 導入および管理がとても簡単
- ダウンタイムの縮小と信頼性の高い復旧
 - 目標復旧時間(RTO)を最小に
- 常にレプリケーションを行い、データ喪失を最小限に
 - 数分単位の目標復旧時点(RPO)
- 本番業務に影響を与えずに災害対策の訓練(テスト)が行える
- 詳細はこちらまで
 - <https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/site-recovery/>
 - <https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/site-recovery/site-recovery-faq>



Instant Cloud Recoveryタブ (構成前)

The screenshot shows the Veritas Backup Exec™ interface. The top navigation bar includes: ホーム (Home), バックアップとリストア (Backup and Restore), ジョブモニター (Job Monitor), ストレージ (Storage), レポート (Reports), and **インスタントクラウドリカバリ** (Instant Cloud Recovery). Below the navigation bar are three main sections: 管理 (Management) with sub-items like フェールオーバーの管理 (Manage Failover), レプリケーションの管理 (Manage Replication), and エラーの詳細を表示 (View Error Details); 更新操作 (Update Operations) with sub-items like サブスクリプションまたはボルトの変更 (Change Subscription or Bolt), 新しいインフラの準備 (Prepare New Infrastructure), and ビューの更新 (Update View); and 設定 (Settings) with sub-items like Azure 構成の 構成の削除 (Delete Azure Configuration) and 詳細の表示 (View Details). A table below these sections has columns: 名前 (Name), レプリケーションの健全性 (Replication Health), 保護状態 (Protection Status), 設定の問題 (Configuration Issues), 前回成功したフェールオーバー (Last Successful Failover), RPO, and 検証エラー (Validation Errors). The main content area displays a message: "Azure へのインスタントクラウドリカバリは設定されていません" (Instant Cloud Recovery to Azure is not configured). Below this message is a button labeled "クリックして設定" (Click to Configure). A secondary message reads: "Azure Site Recovery について詳しくは、Azure ポータルに移動してください。" (For more information about Azure Site Recovery, please move to the Azure Portal). The bottom status bar shows system information: BESVR01, アラート (Alerts) with counts (0, 2, 0, 2), ジョブ (Jobs) with counts (0, 0, 0), and the VERITAS logo.

Azureリソースの構成



アクセス許可に関して: <https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/resource-group-create-service-principal-portal#required-permissions>

Microsoft Azureにサインインします

アカウントにサインイン

Microsoft Azure

Microsoft

サインイン

メール、電話、Skype

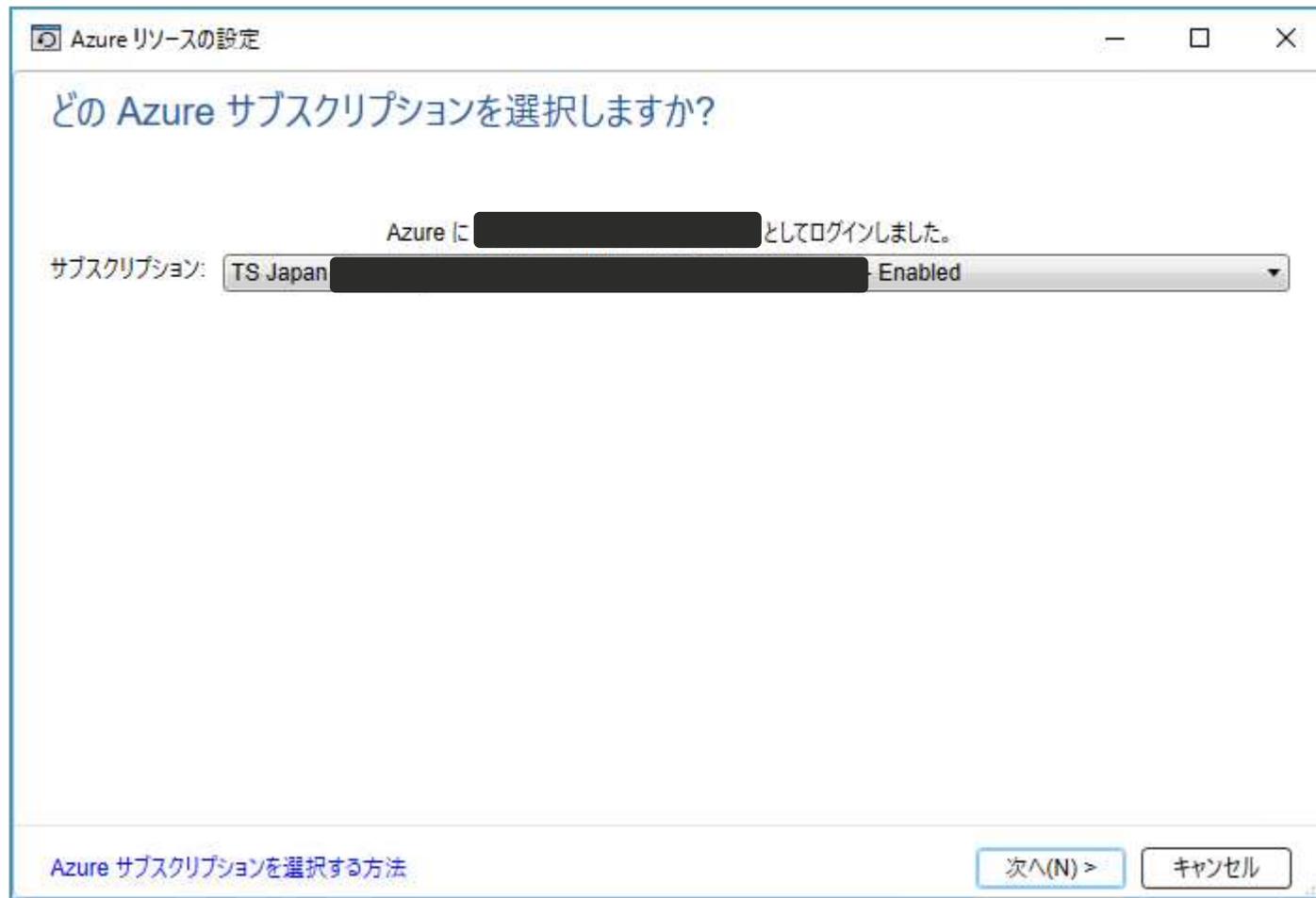
アカウントにアクセスできない場合

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

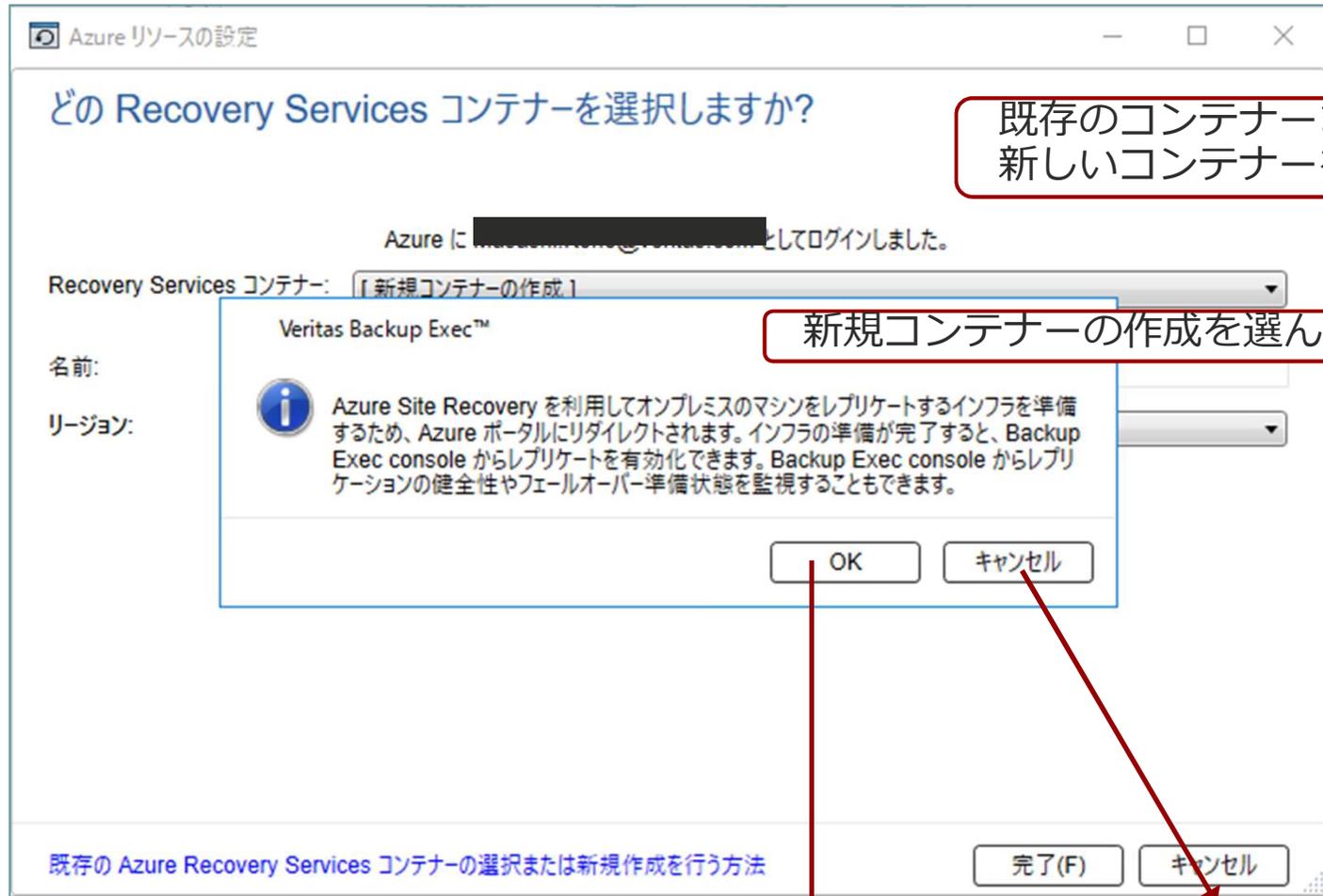
次へ

有効なサブスクリプションが必要となります

Azureサブスクリプション



Recovery Servicesコンテナー



既存のコンテナーまたは新しいコンテナーを作成

新規コンテナーの作成を選んだ場合

Azureポータルの「インフラの準備」のページに移ります

ポップアップ画面を閉じます

Azureポータルでインフラの準備を行う場合

1

- Azureポータルにログイン(portal.azure.com)して、エンドポイントを選ぶ

2

- 「Recovery Servicesコンテナー」からRecovery Serviceのコンテナーを選ぶ

3

- 「Site Recovery」をクリック、「新たなインフラの準備」を選ぶ

Instant Cloud Recoveryタブ

The screenshot shows the Veritas Backup Exec Instant Cloud Recovery interface. The top navigation bar includes tabs for Home, Backup and Restore, Job Monitor, Storage, Reports, and Instant Cloud Recovery (which is selected). Below the navigation bar are sections for Management (Failover, Replication, Error details), Update Operations (Subscriptions, New infra, Views), and Settings (Azure, Composition). A table displays the status of replication for three clients:

名前	レプリケーションの健全性	保護状態	設定の問題	前回成功したフェールオーバー	RPO	検証エラー
client02vm	重要	初期レプリケーションが進行中です				1
client03vm	未複製	未保護				
Microsoft Azur...	未複製	未保護				1

検証エラーは、レプリケーションを行う前に解決しておく

レプリケーションを有効にする

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート **インスタントクラウドリカバリ**

フェールオーバーの管理 レプリケーションの管理 エラーの詳細を表示 サブスクリプションまたはポルトの変更 新しいインフラの準備 ビューの更新 Azure 構成の 構成の削除 詳細の表示

管理 更新操作 設定

前回のクエリ日時: 2018/08/15 20:02:57 仮想マシンの詳細

名前	レプリケーションの健全性	保護状態 ▲	設定の問題	前回成功したフェールオーバー	RPO	検証エラー
client02vm	❗ 重要	初期レプリケーションが進行中です				❗ 1
client03vm	🔵 未複製	未保護				
Microsoft Azur...	❗ 未複製	未保護				❗

レプリケーションを有効にする(E)
フェールオーバーの管理(M)
エラーの詳細を表示(D)
仮想マシンの詳細(V)
コピー Ctrl+C

仮想マシンのレプリケーションを一度も行った実績がなく、かつ検証エラーがなければ、右クリックでレプリケーションを開始できる

BESVR01 アラート 0 1 0 3 ジョブ 0 0 0 0 VERITAS

レプリケーションの設定を有効にする

AzureへのVMware VMのレプリケーションを有効にする

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/site-recovery/vmware-azure-enable-replication>

AzureにオンプレミスHyper-V VMのディザスターリカバリーを設定する

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/site-recovery/hyper-v-azure-tutorial>

プレミアムストレージアカウントが選択されている場合、ログストレージアカウントも指定する必要があります

VMwareのレプリケーションを有効にする

仮想マシンの設定

仮想マシン名: client03vm

ターゲットマシン名: client03vm

サーバーとアカウントの設定

設定サーバー: ASRconfig

プロセスサーバー: ASRconfig

次のアカウントとして実行: clientvm

レプリケーションポリシーの設定

レプリケーションポリシー: ASRconfig2

ターゲット設定

ストレージアカウント: icrstorageacct

ログストレージアカウント:

仮想ネットワーク: ICRcontainer_RG

リソースグループ: ICRcontainer_RG

仮想マシンでレプリケーションの有効化を正常に行うには、上記の値すべてを選択する必要があります。VMware 仮想マシンのレプリケーションのプロパティの設定について詳しくは、次をクリックしてください: [こちら](#)

ヘルプ(H) OK キャンセル

Instant Cloud Recoveryのリボン



Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート **インスタントクラウドリカバリ**

フェールオーバーの管理 レプリケーションの管理 エラーの詳細を表示 サブスクリプションまたはポルトの変更 新しいインフラの準備 ビューの更新 Azure 構成の詳細の表示 構成の削除

管理 更新操作 設定

前回のクエリ日時: 2018/08/15 20:17:25 仮想マシンの詳細

名前	レプリケーションの健全性	保護状態 ▲	設定の問題	前回成功したフェールオーバー	RPO	検証エラー
client02vm	❗ 重要	初期レプリケーションが進行中です				❗ 1
client03vm	✅ 正常	保護を有効化中				
Microsoft Azur...	❌ 未複製	未保護				❗ 1

BESVR01 アラート 0 1 0 3 ジョブ 0 0 0 0

VERITAS

Instant Cloud Recoveryのリボン

The image displays two screenshots of the Veritas Backup Exec software interface, specifically the 'Instant Cloud Recovery' ribbon. A red arrow points to the 'client03vm' row in the top screenshot.

Top Screenshot (Query Date: 2018/08/15 20:57:25)

名前	レプリケーションの健全性	保護状態 ▲	設定の問題	前回成功したフェールオーバー	RPO	検証エラー
client03vm	警告	初期レプリケーションが進行中です				
client02vm	重要	初期レプリケーションが進行中です				1
Microsoft Azur...	未複製	未保護				1

Bottom Screenshot (Query Date: 2018/08/16 13:06:01)

名前	レプリケーションの健全性	保護状態 ▲	設定の問題	前回成功したフェールオーバー	RPO	検証エラー
client02vm	正常	保護済み			5分 [2018/08/16 12:54:55の時点]	1
client03vm	正常	保護済み			3分 [2018/08/16 12:50:52の時点]	
Microsoft Azur...	未複製	未保護				1

Instant Cloud Recoveryのリボン

The screenshot shows the Veritas Backup Exec™ interface. The top ribbon is labeled "インスタントクラウドリカバリ" (Instant Cloud Recovery). Below it, there are several management and update operation buttons. A red box highlights the "エラーの詳細" (Error Details) button. A red arrow points from this button to a detailed error window titled "エラーの詳細 - client02vm".

エラーの詳細 - client02vm

エラー ID: 78148
エラーメッセージ: VM のブートが UEFI です。
考えられる原因: VM のファームウェアブートの種類が UEFI です。
推奨: UEFI による VM のブートはサポートされていません。Microsoft サポートにお問い合わせください。
前回の確認日時: 2018/08/15 17:31:48

設定の問題:
なし

レプリケーションの健全性の問題:

エラー ID: 78169
エラーメッセージ: ソース マシン上のディスク 'Disk0' で、初期レプリケーション/再同期がフロー制御されました。
考えられる原因:
プロセス サーバー フローは、レプリケート対象の仮想マシンのディスクの再同期キャッシュ フォルダ (プロセス サーバー上) のレプリケーション データの量 (プロセス サーバーからの転送を保留中) がディスクごとのしきい値を超える場合に、これらのディスクの初期レプリケーション/再同期を制御します。
制御が行われるのは、プロセス サーバーがレプリケーション データを Azure に転送できる速度が、仮想マシンからデータを受信する速度より低く、プロセス サーバー上にデータが溜まってしまふような場合です。原因としては、次のようなことが考えられます。
1. プロセス サーバー上に一時的にデータが溜まっているにすぎない。この場合、しばらく経つと自動的に解決します。
2. データのレプリケートのためにプロセス サーバーを使用しているマシンが多すぎてプロセス サーバーが処理しきれなくなり、リソース競合が生じている。
3. 現在、プロセス サーバー上でログターゲット Azure ストレージ アカウントにデータをアップロードするために利用できるネットワーク スループット/帯域幅が不足している。原因はネットワーク異常やネットワーク停止が考えられます。
4. ネットワーク接続に問題が発生し、プロセス サーバーが Azure Site Recovery サービスまたは Azure ストレージ アカウントに接続できなくなっている

推奨:
これが 1 時間以内に自動的に解決されない場合は、以下を確認してください。
1. プロセス サーバーから Azure のターゲット/ログ ストレージ アカウントに対するネットワーク接続が存在している。
2. プロセス サーバー マシンで "Microsoft Azure Recovery Services エージェント" サービスと "InMage Scout Vx Agent - Sentinel/Outpost" サービスが実行中になっている。
3. プロセス サーバーに、サービス対象のサーバーからのレプリケーション データを処理するための十分なリソースがプロビジョニングされている。プロセス サーバーの適切なサイズを計画するには、ASR デプロイ プランナー (<https://aka.ms/asr-v2a-deployment-planner>) が役に立ちます。
4. プロセス サーバーと Azure の間に十分なネットワーク帯域幅があり、かつ、レプリケートするマシンのストレージの適切な階層にレプリケートしている。必要な帯域幅とレプリケート先の仮想マシンの適切なストレージ層を見積もる際には、ASR デプロイ プランナー (<https://aka.ms/asr-v2a-deployment-planner>) を利用できます。

レプリケーションに関する問題のトラブルシューティング方法については、<https://aka.ms/asr-v2a-flowcontrol> の記事をご覧ください。

最初の検出日時: 2018/08/15 17:19:59

OK

レプリケーションが有効になっている仮想マシンのレプリケーションを Azureポータル上で管理 (次のスライド参照②)

レプリケーションまたは保護されている仮想マシンのフェールオーバーを Azureポータル上で管理 (次スライド参照①)

Instant Cloud Recoveryのリボン

① Azureポータル上のフェールオーバーの管理

The screenshot displays the Microsoft Azure portal interface for a virtual machine named 'client03vm'. The top navigation bar includes the search bar and user profile 'Masashi.Kono@ver...'. The left sidebar shows navigation options like '概要' (Overview), 'プロパティ' (Properties), 'コンピューティングとネットワーク' (Computing and Network), and 'ディスク' (Disks).

The main content area is titled 'フェールオーバー' (Failover) and includes a ribbon with actions: 'フェールオーバー', 'テスト フェールオーバー', 'テストフェールオーバーのクリーンアップ', 'コミット', '再同期', '復旧ポイントの変更', '移行の完了', '再保護', and 'その他'.

The '基本' (Basic) section is expanded, showing three columns of information:

- 正常性と状態** (Health and Status):
 - レプリケーションヘルス: Healthy
 - 状態: Protected
 - 現在の RPO: 4 分前 [2018年8月16日 15:03:11 時点]5D;
- 最新の使用可能な復旧ポイント** (Latest available recovery point):
 - クラッシュ整合性: 2018年8月16日 14:12:46
 - アプリ整合性: 2018年8月16日 14:04:24
- フェールオーバーの準備** (Failover preparation):
 - 正常に実行された最後のテスト フェールオーバー: 正常に実行されませんでした
 - 構成の問題: 問題はありません
 - エージェントのバージョン: 9.18.2.0

The 'エラー (0)' (Errors) section shows 'エラーはありません' (No errors).

The 'イベント - 過去 72 時間 (14)' (Events - Last 72 hours) section displays a table of events:

TIME	EVENT NAME	SEVERITY
2018年8月16日 12:11...	Virtual machine health...	情報
2018年8月16日 10:19...	Resynchronization re...	重大
2018年8月16日 10:03...	Virtual machine health...	重大
2018年8月16日 10:03...	No communication fr...	重大

At the bottom, there is a section for 'インフラストラクチャビュー' (Infrastructure view) with a 'テーブルビュー' (Table view) option.

Instant Cloud Recoveryのリボン

② Azureポータル上のレプリケーションの管理

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

Masashi.Kono@ver...
VERITAS TECHNOLOGIE...

ホーム > ICRcontainer - レプリケートされたアイテム

ICRcontainer - レプリケートされたアイテム

Recovery Services コンテナ

検索 (Ctrl+F)

最新の情報に更新 + レプリケート 列 フィルター

オンプレミスから Azure へのフェールオーバーまたは移行の後に、Managed Disks でマシンを実行できます。[レプリケーション アイテム]5D;、[設定]5D;、[コンピューティングとネットワーク]5D; の順に移動して、Managed Disks を使用するオプションを設定してください。

最新の情報に更新した最終時刻: 2018年8月16日 15:16:48

サービスからのデータの読み込みが完了しました。

アイテムのフィルター...

名前	レプリケーション ヘルス	状態	アクティブな場所	レプリケーション エラー
client03vm	Healthy	Protected	ASRconfig	-
client02vm	Healthy	Protected	ASRconfig	-

Instant Cloud Recoveryのリボン

The screenshot displays the Veritas Backup Exec interface with the 'Instant Cloud Recovery' ribbon selected. The ribbon contains several icons for management, update operations, and settings. Below the ribbon, three configuration windows are shown, connected by red arrows indicating the workflow:

- Top Window:** 'Azure リソースの設定' (Azure Resource Settings). It asks 'どの Azure 環境を設定に使用しますか?' (Which Azure environment do you want to use for configuration?). A dropdown menu shows options: Azure, Azure Government クラウド, Azure Germany, and Azure 中国. Below the dropdown, instructions are provided for user selection.
- Middle Window:** 'Azure リソースの設定' (Azure Resource Settings). It asks '変更する Azure リソースを選択してください。' (Select the Azure resource to be changed). Two radio buttons are present: 'サブスクリプション' (Subscription) and 'Recovery Services コンテナ' (Recovery Services Container).
- Bottom Window:** 'Azure リソースの設定' (Azure Resource Settings). It asks 'どの Recovery Services コンテナを選択しますか?' (Which Recovery Services container do you want to select?). A dropdown menu shows options: [CRcontainer], [CRcontainer], and [新規コンテナの作成] (Create new container). Below the dropdown, a 'リージョン:' (Region) dropdown is set to '東日本' (East Japan).

Instant Cloud Recoveryのリボン



選択されたRecovery Serviceコンテナの新しいインフラの準備をAzureポータル上で行う（次スライド参照③）

Azure リソース設定の詳細

サブスクリプション ID:

サブスクリプション名:

Recovery Services コンテナ:

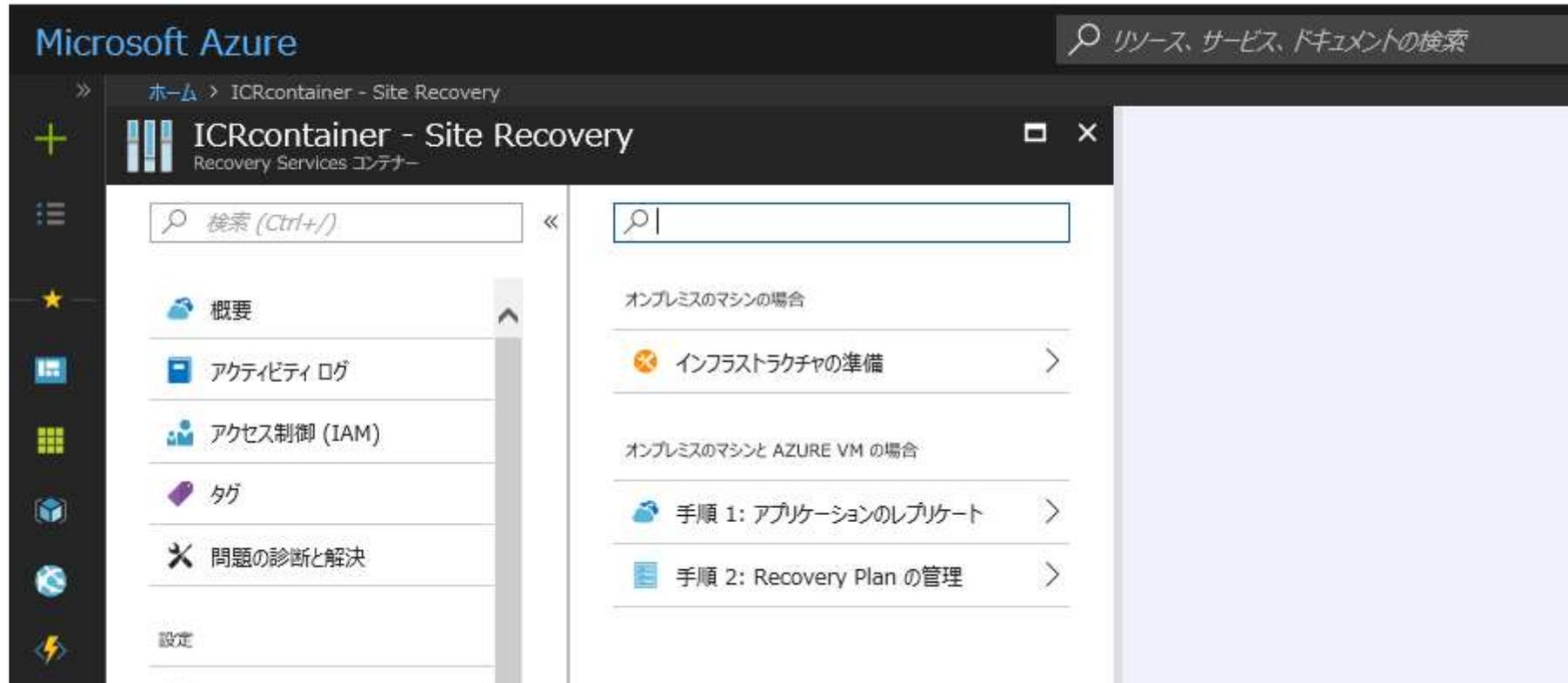
OK

選択されたサブスクリプションとRecovery Serviceコンテナを元に、仮想マシンの表示を更新

デフォルトで10分に1回更新

Instant Cloud Recoveryのリボン

③インフラの準備



Instant Cloud Recoveryのウィジェット

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ

レイアウト

インスタントクラウドリカバリの状態

状態: DR 健全性

保護	DR 健全性
未保護: 1	重要: 0
保護対象: 2	正常: 2
	警告: 0
	該当なし: 0

DRの健全性

- **重要** – レプリケーションがなんらかの理由で中断しているか、レプリケーションが変更の速度よりも遅く、追いついていない状態
- **正常** – レプリケーションは正常に進んでおり、エラーや警告もない状態
- **警告** – レプリケーションに影響を及ぼす可能性のある症状またはレプリケーションが正常に行われていない可能性を示す状態
- **該当なし** – 現在レプリケーションが行われていないサーバー（フェールオーバー済みのサーバなど）

Instant Cloud Recoveryのウィジェット

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

レイアウト

1列 2列 狭い/広い 3列 ホームタブのリセット

アクティブアラート アラート履歴 バックアップ状態 バックアップサイズ ストレージ状態 インスタントクラウドリカバリ 設定タスク Simplified Disaster システム

インスタントクラウドリカバリの状態

状態: フェールオーバー準備状態

保護	フェールオーバー準備状態
未保護 1	テストを推奨します 2
保護対象 2	正常に実行しました 0
	該当なし 0

BESVR01 アラート 1 1 0 3 ジョブ 0 0 0

VERITAS

フェールオーバー準備状態

- **テストを推奨します** – 保護状態に達していて、まだフェールオーバーテストを実施していないサーバー
- **正常に実行しました** – フェールオーバーが正常に完了した1台以上のサーバー
- **該当なし** – フェールオーバーテストを実行する資格がないサーバー。例：
 - フェールオーバー済みのサーバー
 - 初期同期中のサーバー
 - フェールオーバー中またはテスト実行中のサーバー

SharePoint 2016のサポート



SharePoint 2016対応



保護の単位はデータベース/アプリケーションレベル
(GRT単位は未サポート)

SharePoint 2016のバックアップは、SharePoint 2013でGRT
無しでバックアップするのと変わらない

SharePoint 2016のバックアップ手段

完全バックアップ

- Full
- Full (Copy)

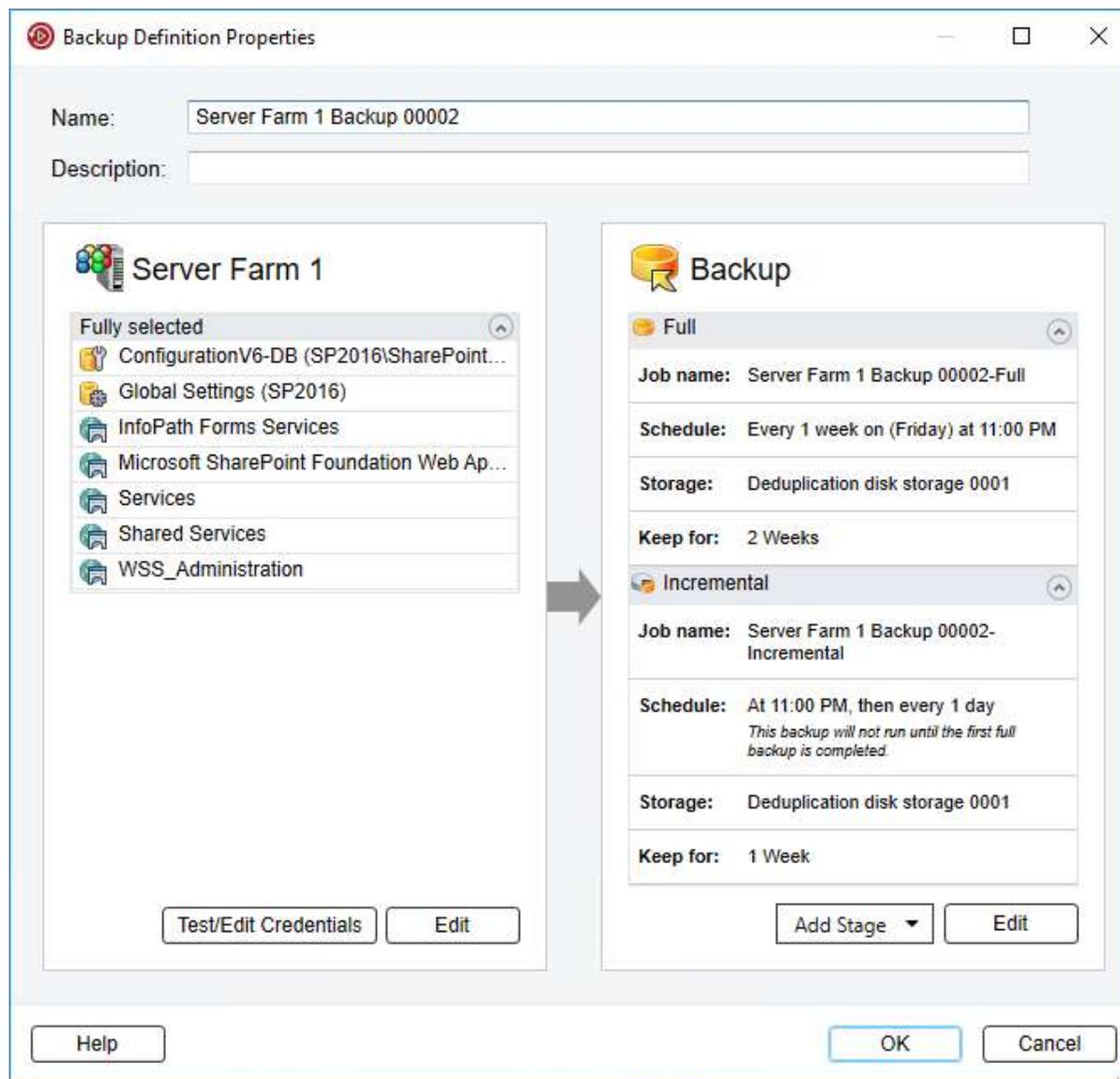
スナップショット/ブロックベースバックアップ (AOFO使用)

- 増分 - 変更ブロック
- 差分 - 変更ブロック

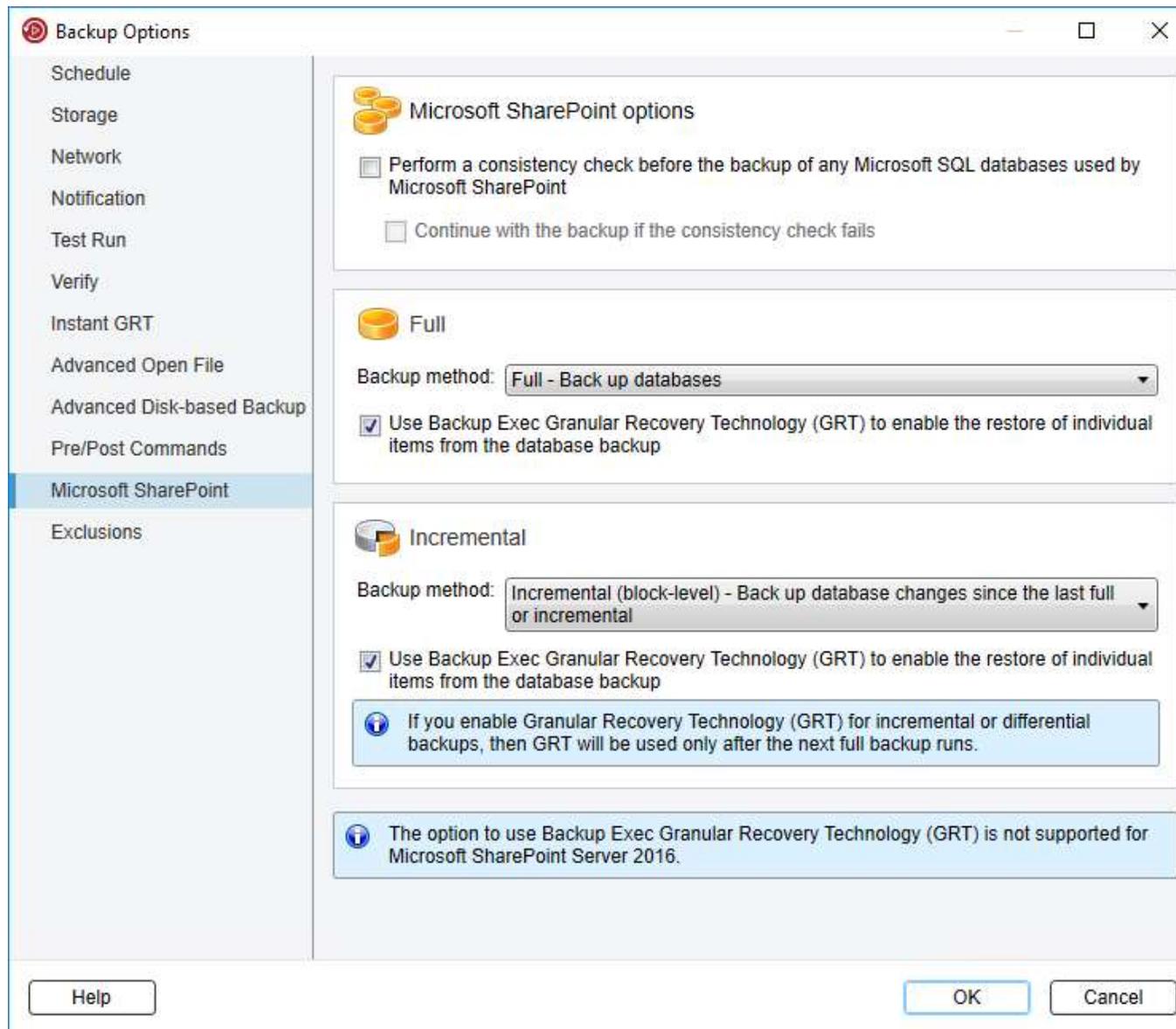
ストリーミングベースのバックアップ (AOFO未使用)

- Log - バックアップとログの切り捨て
- Diff - 最後の完全バックアップからのデータベースの変更

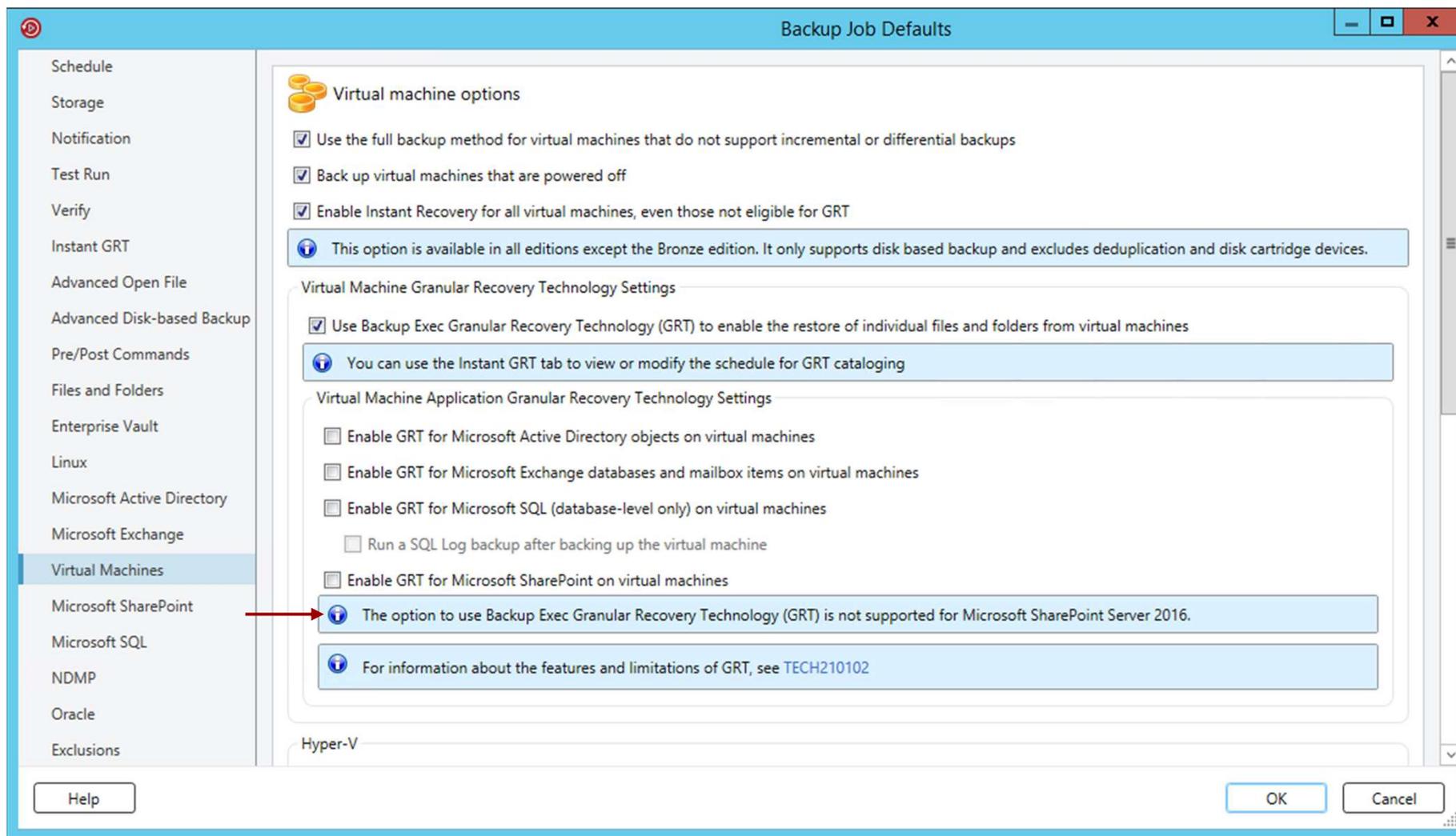
SharePoint 2016保護されるコンポーネント



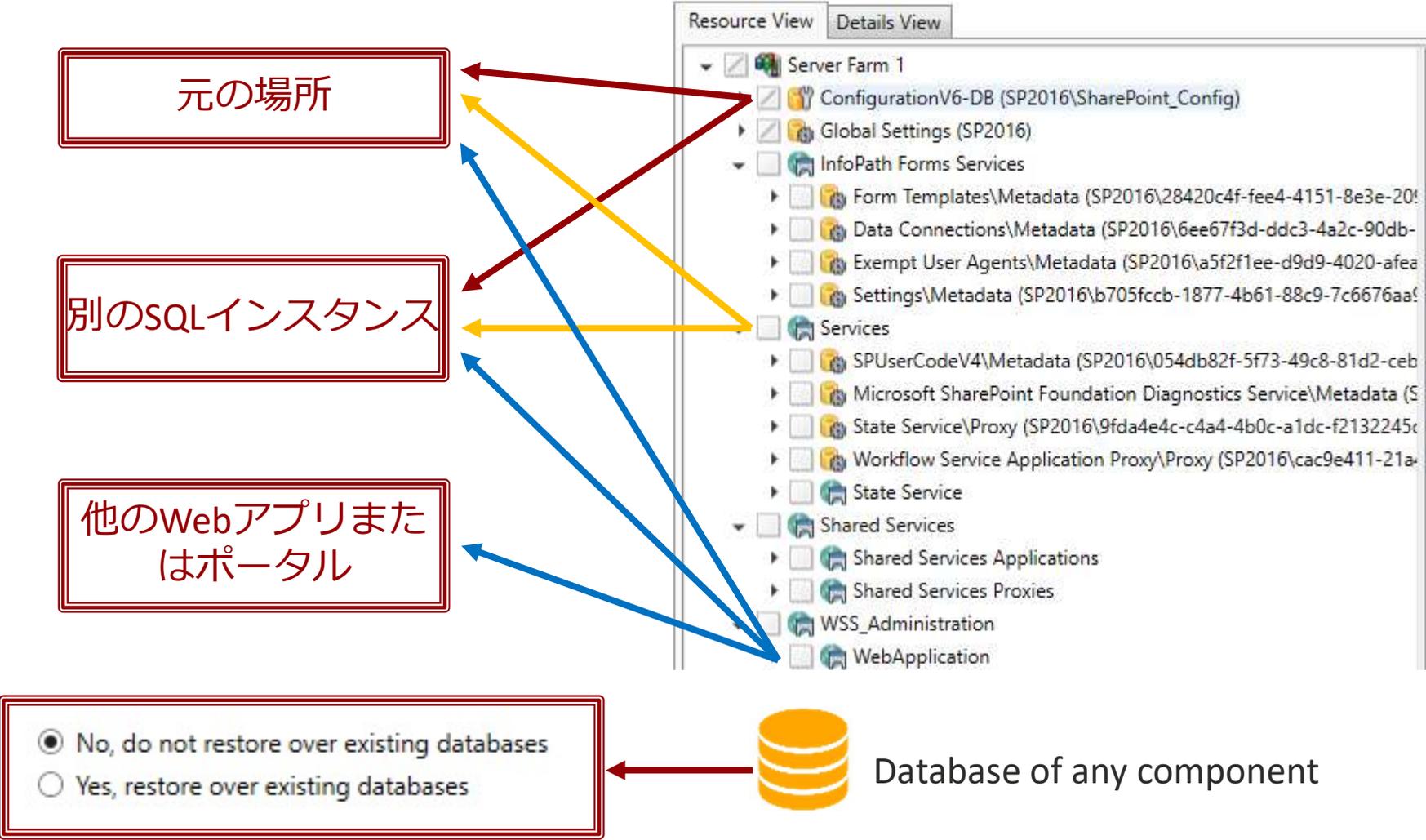
Microsoft SharePointタブ



仮想マシンのタブ



SharePoint 2016復元オプション



VMware証明書の検証



VMware証明書の検証について



ユーザーがSSL証明書を確認して身元を検証できるようにする



Backup Execサーバーと仮想ホスト間の通信の変更についてユーザに通知



間に入った攻撃を阻止



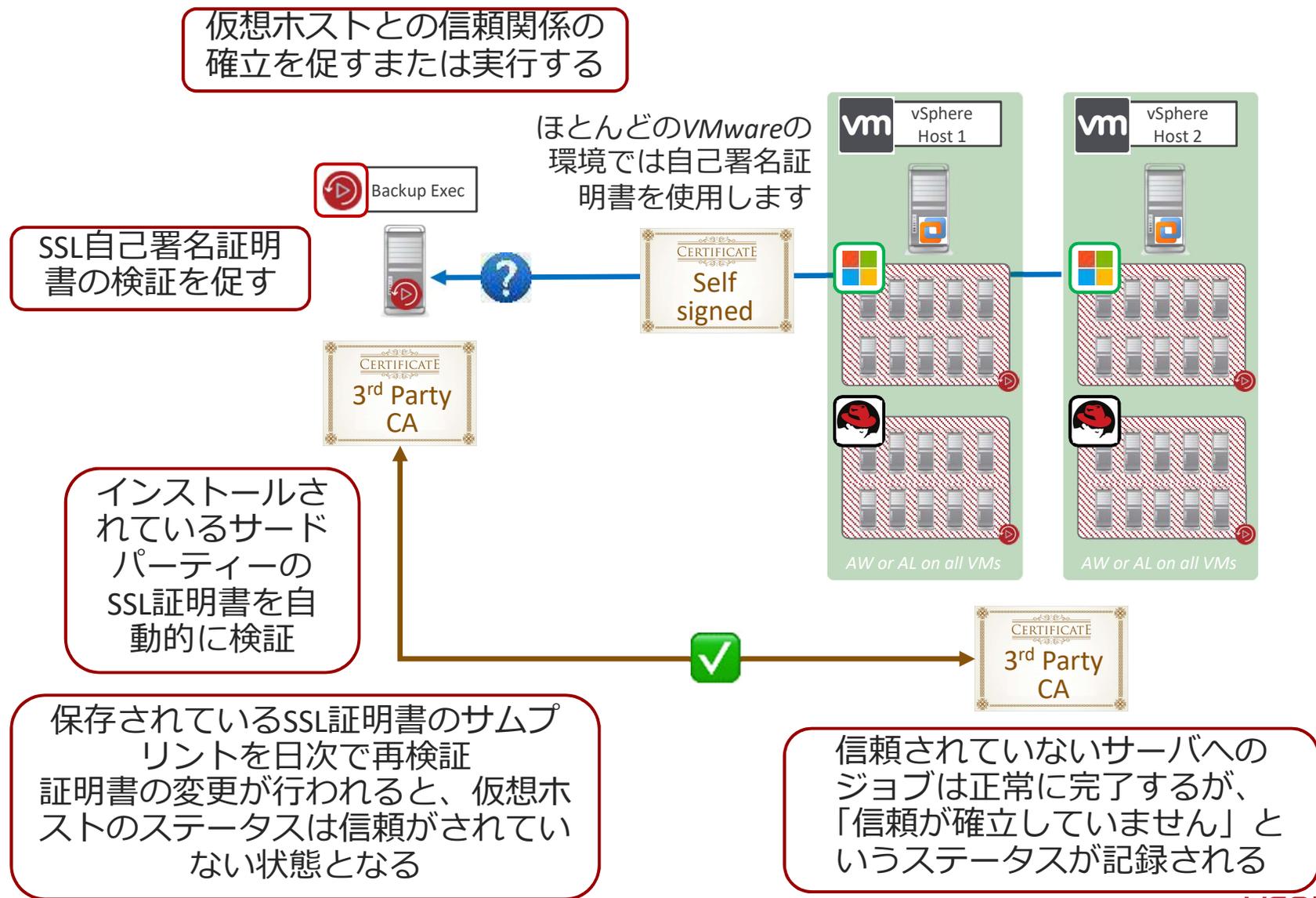
自己署名証明書の信頼を確立し、既知のサードパーティの証明書を検証



計画を立てて定期的に証明書を再検証

- BEDBに新たなテーブル「RC Certificate」が追加された。ここにそれぞれの仮想サーバの証明書のサムプリントが格納される
- スケジュールの設定は、レジストリキーの修正で行う

信頼の確立



信頼が確立されていない

The screenshot shows the Veritas Backup Exec interface. The main window displays a table of servers with the following data:

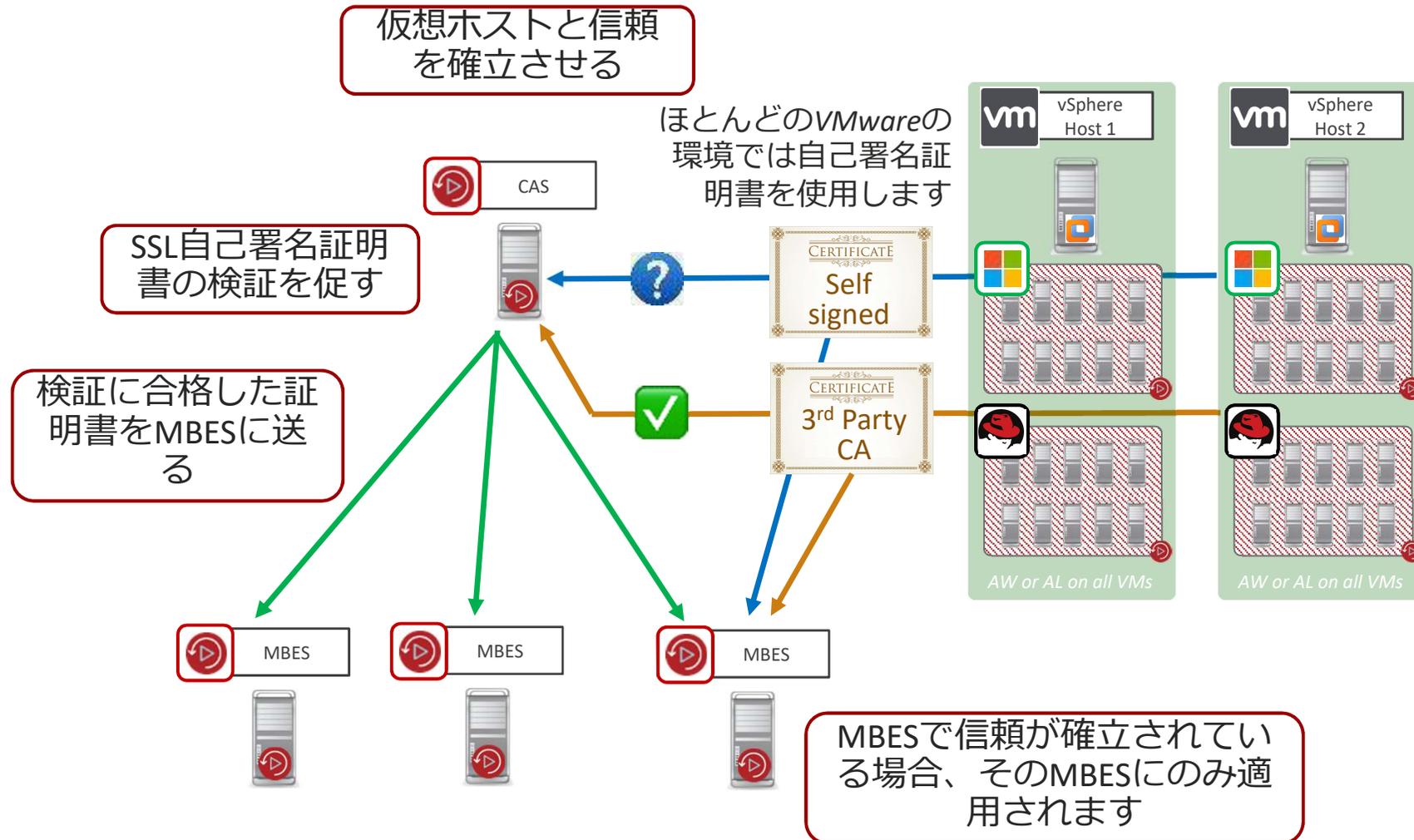
グループ	サーバー	アクティブアラート	状態	過去 7 日間
すべてのサーバー すべてのサーバーとアプリ... 4 サーバー	10.193.28.3 ESX01		バックアップされていません、信頼関係が確立されていません	金 土 日 曜
	ASRconfig		バックアップされていません	金 土 日 曜
	besvr01		バックアップされていません	金 土 日 曜
	client02vm		バックアップされていません	金 土 日 曜

Two dialog boxes are overlaid on the interface:

- 信頼関係の確立 (Warning):** 仮想ホスト 10.193.28.3 のセキュリティ証明書を検証できません。証明書を受け入れて続行しますか? (Buttons: 証明書を表示(V).., はい(Y), いいえ(N))
- 信頼の確立 (Information):** 信頼の確立。サーバー '10.193.28.3' との信頼が確立されました。 (Button: OK)

A red arrow points from the warning dialog to the information dialog.

CAS-MBES



ありがとうございました！

Copyright © 2018 Veritas Technologies. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

VERITAS[™]
The truth in information.